

児童生徒の「自立した学び」に向けて、「CBT」で実施！



鹿児島県教育委員会
公式キャラクター「かごまる」

令和6年度 鹿児島学力・学習状況調査

児童生徒の主体的な学びにより生かされるように！

教師の授業改善により生かせるように！

① 調査の目的

学習指導要領において身に付けることが求められている知識及び技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識などの学習状況、学校の取組状況を把握する。

また、**CBTで実施することにより**、一人一人の児童生徒が自らの学力や学習の状況を振り返ることで、自らの学びに生かすとともに、児童生徒の**情報活用能力の育成**につなげる。

さらに、各学校では**詳細な分析を個別最適な学びに活用**するなど、指導法改善を図り、児童生徒の確かな学力の定着や向上を推進する。

全県での悉皆調査で3学年、小学校4教科、中学校5教科での CBT 実施は**全国唯一**です！（県教委把握）

② 調査の対象・教科

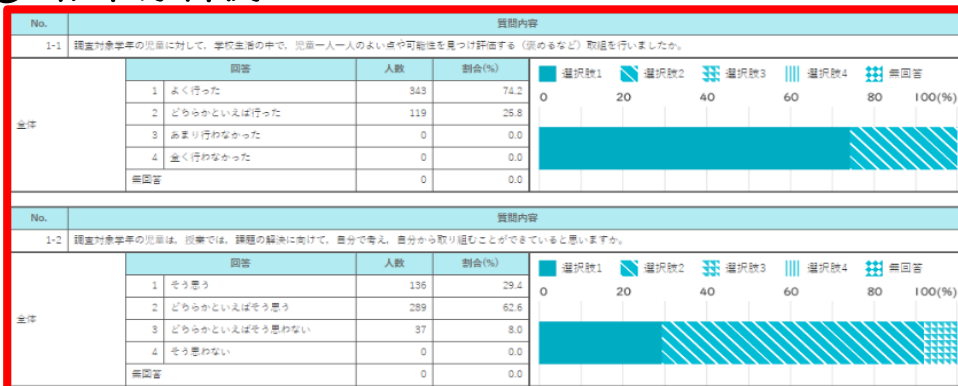
実施学年	調査の内容	学習状況調査
小学校第5学年	国語、社会、算数、理科	
中学校第1学年	国語、社会、数学、理科、英語	
中学校第2学年	国語、社会、数学、理科、英語	



③ CBT（「Computer Based Testing」）による実施のメリット

- 従来の紙媒体による調査と異なり、**タブレット端末等（1人1台端末）を使用**して調査ができます。
- **情報活用能力**も含めた新時代に求められる**「確かな学力」の育成**につながります。
- 調査問題の配送や収集、採点の手間も不要となり、**学校の負担が大きく減ります**。
- **「個別最適な学び」を実現**するため、児童生徒は自身の結果を基にしながら類題に挑戦できます。

④ 結果分析例



各学校と県、地区、市町村との正答数や回答傾向等の比較、学力調査と学習状況調査との**クロス集計**も可能となり、より詳細な分析ができます。

- 選択式、短答式は自動採点されるため、児童生徒、教員に**採点結果が迅速**に届きます。
- **児童生徒一人一人に個人票が作成**され、そこから**誤答問題に関連する類題**を選択し、自身の苦手な問題の克服に向けた学習ができるようにしています。



「自立した学習者」の育成を目指しています！